

2014年11月14日

ミュンヘン再保険会社 日本支店（生命再保険）
ミュニーックリー オートメーションソリューションズ株式会社

大同生命保険と自動引受査定ソリューションの契約締結

ミュンヘン再保険会社（本社：ミュンヘン、CEO：ニコラス フォン ボンハルト）傘下のミュニーックリー オートメーションソリューションズ Ltd（以下「MRAS」）は、自動引受査定エンジン（Allfinanz Interview Server、以下「AIS」）、およびデータ分析・レポートモジュール（Allfinanz Business Analytics）のライセンスを提供することについて、大同生命保険株式会社（所在地：大阪市西区、代表取締役社長：喜田 哲弘、以下「大同生命」）様と合意に至り、このたびライセンス契約を含む必要な契約すべてを締結いたしました。

併せて、ミュンヘン再保険会社 日本支店（生命再保険）（以下「ミュンヘン再保険」）が構築した AIS に搭載される自動引受査定ルール（傷病ごとに査定に必要な情報の確認を行う対話式ドリルダウン質問）の提供についても、ミュンヘン再保険が大同生命様と契約を締結し、今後大同生命様の査定標準に合致するように、共同でドリルダウン質問にカスタマイズを施す予定です。

大同生命様は、お客さまサービスのより一層の向上と事務効率の向上を実現するため、新契約手続きの円滑化、医務査定の迅速化、保険引受の高度化を目指し、MRAS の AIS を導入されます。新契約手続きにおいて告知事項がある場合には、その傷病に応じた対話型のドリルダウン質問が展開されるため、お客様にとって分かりやすい告知プロセスとなっており、また、引受査定に必要な情報をよりの確に取得することが可能なため、お客様の利便性を大幅に向上させるのみならず大同生命様の事務効率をも向上させます。大同生命様が今回導入する AIS は、これまで他の生命保険会社で導入されてきたオンライン版ではなく、MRAS が新たに開発したオフライン版となります。オンライン版 AIS では、申込者による告知プロセスは、使用する端末がインターネットに接続された状態（オンライン）を前提としていましたが、オフライン版では端末がインターネットに接続していない状態でドリルダウン質問が展開可能になります。AIS オフライン版は、大同生命様が既に全国の営業担当者様への配布を完了している新しい営業端末上で、2016 年内の稼働開始を予定しています。

[MRAS の AIS とは (製品の説明)]

MRAS が開発した AIS は、パソコンやタブレット端末等の画面上で告知取得を行い、かつ申し込みのその場で引受判断や引受条件の決定を行うことを可能にした自動引受査定エンジンです。AIS には引受査定ルールと呼ばれるドリルダウン質問 (回答に応じて対話形式に展開される質問) が搭載されており、従来の紙ベースによる告知プロセスでは取得が難しかった、被保険者の詳細な健康状態や病歴情報の入手を可能にしています。導入できる販売チャネルに制限はなく、営業職員、乗合型代理店、コールセンター、インターネット・ダイレクト、銀行窓販それぞれにおいて、AIS により引受査定プロセスを自動化することができます。ドリルダウン質問により、健康状態に関するより詳しい情報を取得できることから、追加で医的証明書を求める頻度が少なくなるなど、お客さまの負担を軽減でき、同時に査定者に回付されるケースも削減されるため、保険会社のコスト削減、売り上げ向上にも役立ちます。

日本でも引受査定を自動化することの利便性、優位性が広く認知されてきており、AIS を利用した自動引受査定の導入が今後さらに加速することが期待されます。

最近では通常のオンライン版に加えて、インターネットへの接続なしにインタビューが可能となるオフライン版や、AIS の標準ユーザーインターフェースをカスタマイズするのではなく、各保険会社が始めから告知画面を構築することを可能とした API の提供も開始しています。

[MRAS の Business Analytics とは (製品の説明)]

MRAS が開発した Business Analytics は、引受査定のプロセスで入手できる新契約の情報を基に、自動引受査定ルールの最適化はもとより、営業員のパフォーマンス、販売戦略、あるいは商品戦略等に有効な分析やレポートを提供する新契約情報の分析およびレポート・ツールです。既にテンプレート化されている標準レポートのほかに、ユーザーが自由にレポートを定義・作成することも可能です。

ミュンニクリー オートメーションソリューションズ Ltd

[本社：アイルランド ダブリン、CEO ロス メイン]

1987年の設立以来、世界各国の主要な生命保険会社に自動引受査定エンジン（AIS）、および新契約に係るデータ分析・レポート・ツール（Business Analytics）を提供している、業界をリードするソフトウェア・プロバイダーです。引受査定プロセスを自動化することで、生命保険会社の売り上げ向上、顧客獲得コストの削減に貢献しています。2007年にミュンヘン再保険グループの傘下となり、2008年に100%子会社として日本法人ミュンニクリー オートメーションソリューションズ株式会社を設立しました。

(担当：林 洋一 電話：03-4550-1552 e-mail：<mailto:YHayashi@munichre.com>)

ミュンヘン再保険会社 日本支店（生命再保険）

[所在地：東京都千代田区、CEO パトリック サラン]

創業1880年のミュンヘン再保険グループは、グローバルな事業を通しさまざまなリスクから価値を創造しています。世界最大手の再保険会社として、世界50カ国以上で約44,000名の従業員が保険・再保険のあらゆる分野に従事しています。

日本では、1967年に東京連絡事務所を開設し、2001年にミュンニクリージャパンサービス株式会社となりました。さらに2010年7月には、生命再保険業務を分離させミュンヘン再保険会社 日本支店（生命再保険）を設立しました。ミュンヘン再保険会社 日本支店（生命再保険）では、生命保険、医療保険に係る再保険業務に関連して、伝統的再保険の枠を超える幅広いサービスを日本の生命保険会社等に提供しています。

ミュンヘン再保険会社 日本支店（生命再保険）は、自動引受査定に係るサービスの提供を他の再保険会社に先駆けて開始しており、日本市場向けに構築した引受査定ルールは、申込時に想定される告知事項の約8割～9割を網羅しています。この引受査定ルールは、超過保険料、保険金削減、部位不担保等の特別条件についても対応しています。また、ドリルダウン質問を各生命保険会社の査定標準に適応させる引受査定ルールのカスタマイズについても、経験豊富なスタッフが万全の体制でサポートしています。

(担当：岡崎 真也 電話：03-5251-6861 e-mail：sokazaki@munichre.com)